

令和4年度 第7回教育研究評議会議事要録

日時 令和4年11月10日（木）13:30～14:28

場所 Teams（オンライン）開催

出席者 太田学長，久留主理事，佐川理事，山岸理事，鳥羽田理事，菊池理事，原口人文社会科学部長，野崎教育学部長，岡田理学部長，乾工学部長，宮口農学部長，羽渕図書館長，西川全学教育機構長，井上評議員，高橋評議員，瀧澤評議員，下村評議員，田内評議員，鎌田評議員，横木評議員，大久保評議員，井上評議員，安評議員，金野副学長，増澤副学長

監事監査規則第9条第2項に基づく出席者 人見監事，浅見監事

議 題

審議事項

- 1 令和3年度自己点検評価書（案）について
- 2 教員の任期に関する規程の一部改正について
- 3 ティーチング・アシスタント制度の再構築について
- 4 学生の懲戒処分について

報告事項

- 1 教員の人事について
- 2 令和4年度茨城大学学長学術表彰について
- 3 DX講演シリーズ（第5弾）「鹿島アントラーズで実践するDX ～デジタルを活用して実現する地域活性と大学教育～」の開催について（羽渕副学長（情報・DX））
- 4 国立大学法人26大学理学部長会議の報告について
- 5 第46回国立大学55工学系学部長会議総会報告について

議 事 概 要

I 審議事項（○：構成員 ●：報告者，事務局等）

1 令和3年度自己点検評価書（案）について

学長から，令和3年度自己点検評価書（案）について，資料1に基づき審議願いたい旨の提案があった。次いで，大学戦略・IR室長から説明があり，審議の結果，提案のとおり了承された。

2 教員の任期に関する規程の一部改正について

学長から，教員の任期に関する規程の一部改正について，資料2に基づき審議願いたい旨の提案があった。次いで，人事労務課長から説明があり，審議の結果，提案のとおり了承された。

3 ティーチング・アシスタント制度の再構築について

学長から，ティーチング・アシスタント制度の再構築について，資料3に基づき審議願いたい旨の提案があった。次いで，西川副学長から説明があり，審議の結果，提案のとおり了承された。

【主な意見】

○：公募ティーチング・アシスタントの導入により，ティーチング・アシスタント業務に従事する時間が増加することが想定される。大学でのアルバイト雇用も含め，労働時間数の一元管理が出来れば望ましいのではないか。

4 学生の懲戒処分について

学長から、学生の懲戒処分について、資料に基づき審議願いたい旨の提案があった。次いで、久留主理事等から説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

II 報告事項

1 教員の人事について

学長から、口頭での報告を省略する旨、発言があった。

2 令和4年度茨城大学学長学術表彰について

金野副学長から、令和4年度茨城大学学長学術表彰について、資料4に基づき報告があった。

3 DX講演シリーズ（第5弾）「鹿島アントラーズで実践するDX ～デジタルを活用して実現する地域活性と大学教育～」の開催について

羽瀧副学長から、DX講演シリーズ（第5弾）の開催について、資料5に基づき報告があった。

4 国立大学法人26大学理学部長会議の報告について

理学部長から、国立大学法人26大学理学部長会議について、資料6に基づき報告があった。

5 第46回国立大学55工学系学部長会議総会報告について

工学部長から、第46回国立大学55工学系学部長会議総会について、資料7に基づき報告があった。

III 監事からの意見

- ・自己点検評価について、外部有識者による点検は非常に有意義である。今後も多くのステークホルダーから意見をもらえるよう、対応をお願いしたい。
- ・ティーチング・アシスタントについて、今後授業のオンライン化等により、さらにニーズが高まると認識している。教育改革を充実させるためにも、制度の再構築について着実に進めていただきたい。

IV その他

無し

会議資料の公開について

学長から、資料の公開について、審議事項4の資料は非公開とする旨、確認があった。

次回 教育研究評議会開催

12月9日（金） 13時30分から